

### 第3回福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会 議事概要

#### 1 日 時

2014年（平成26年）1月16日（木）19:00～20:40

#### 2 場 所

福山市役所本庁舎6階 60会議室

#### 3 出席者

石川委員，岡島委員，奥山委員，垣木委員，喜多村委員，平委員，武井委員，土屋委員，壺井委員，福万委員，富士委員，三島委員，宮上委員，村上委員，森近委員，山本委員，和田口委員

#### 4 議事要旨

- 「導入機能の絞込み」について，事務局から説明が行われた後，委員より意見が出された。

##### （意見の概要）

- アンケートと委員から出た意見で，公園・広場・緑地機能の声が一番多かったということで，だだっ広い公園ということではなく，できれば集客が第一だと思う。福山市民だけではなく他県からも世界からも観光客も来るような魅力ある公園・広場でなければ活性化につながらないと思う。どのようにしたら観光客が集うかということが一番大切だと思っている。できるだけ集えるような形で皆さんから出た意見を一つにまとめながら，アンケートから出ている意見も大切だと思うので，それらをまとめながら利活用に生かしていけたらと思っている。体育館の問題も大きい。40数年経ち老朽化しているので，建替えという声が出ている。それを競馬場跡地に建設するのであれば，建設するにあたって出ている5項目を満たした体育館を是非建設して頂きたいと思う。
- 公園・広場・緑地機能だけにこだわるのではなく，それも踏まえた上で一次評価やこれまでの意見やアンケートの内容を鑑みると，スポーツ・健康，体育館，レジャー，医療・福祉というところで，「心が安らぐ」，「落ち着く」が一つのキーワードになってくるのではないかと。一つの機能だけではなく，複合的な機能も備えた形でやっていくというのも一つの案なのではないかと思う。時間軸を見ていくと，短期，中・長期で考えていたりという点については，変化できるように考えていくことも必要になってくるのではないかと思う。
- 跡地の導入の絞込みの検討に1～5まであり，市民の意見を入れて，市のリアリティを考えて点数を付けたと思うが，説明を聞いた中では福山市全体におけるこの15haがどういう位置付けかという全体の大きなコンセプト・骨が見当たらないかなと思う。市制100年に向けて考えるのであれば，ここに挙げられた項目で本当に良いのか。新しい要素がなくても良いのか。駅前の集積した50万都市福山の顔と新しい15haの可能性ある跡地の駅前通りでつながった2つの大きなアンカーの間のことも考えながら，南のアンカーである跡地利用を大き

な意味で考えてから、中身の採点をする方法もあるのではないかと思います。

⇒ 全体の大きなコンセプトについては、導入機能が固まっていないということもあるので、今の意見を踏まえて、機能が固まって今後意見を聞いていく中で大きな視点で考えていきたいと思っている。

- 今の体育館が非常に古いので、競馬場跡地に多目的のスポーツセンター・総合体育館を造って頂きたい。同時に国内外の大会ができ、地域の人たちが使えるような施設が良い。現体育館から競馬場跡地に行くのに、土手の手前のトンネルを車で渡れるようにして、現体育館を駐車場にしたら良いのでは。地域の人防災の事を常に言われているので、競馬場跡地に防災・防犯・避難の観点を以て検討して頂きたい。芦田川の土手より高い所に逃げられるような、土手より高い歩道（幅 10m程度）を周囲に整備して頂きたい。またその時に雨が漏れないようにもして頂きたい。

4 階建ての建物が 2 棟あるが一番北側の建物は相当古いものではないと思う。現在の老人大学は非常に狭く、車の出入りも難しく建物も古いので、老人大学をあそこに持っていったらどうか。樹木などを体験学習という形で老人大学の生徒に管理して頂けたら良い。できればソーラーをつけて電気も賄える施設にしてもらいたい。また、ヘリコプターが着陸できるような施設が必要。タワー式の物が建って万が一災害があった時の構想もあったほうが良い。

スポーツセンターについても、テニス・グランドゴルフのように一般の人が入ってスポーツができるような体制にして頂きたい。公共的なサービス機能ができれば良い。少子高齢化に向けた福祉・子育て等の支援、防災の体験学習のできる施設があれば良い。大学のグラウンドが狭いので、何かの時にはここも使えるようにすれば良い。駐車場も狭いので芦田川の駐車場を高くして設置して頂きたい。そこに子どもが水と触れ合える施設を導入し、花火を観覧できるなど、また、競馬場跡地への橋を作って、防災の拠点に行けるような方法があれば良いかと思う。

⇒ 特に、防災機能や色々な機能について、これまでも検討しているが、特に管理運営の考えを踏まえながら可能な限りバランスを取っていく必要があると思っている。

- 概ねこの方向性に通じるものがあるが、唯一選択するのではなく、大きな方向性が付加価値となり積み重なれば良いと考えている。例えば仙台のゼビオアリーナという体育施設があるが、1,000～2,000 人規模の会議ができ、その周りには公園が広がっていて家族が集まれる施設になっている。また、サッカー場である豊田スタジアムも観客席の下を利用して会議室ができている。可能性がまだまだ広がっていくし、こういうことを軸に、色々な付加価値（例えば広域で考えて福山にいろんな方が来ていただける）が積み重なっていき、それがコンセプトとして方向性が定まると非常にわかりやすく色んな方に発信でき、価値のあるもののできるのではないかと思う。
- 10 年後 4 人に一人が高齢者という中で、安全で安心して老後を迎えられるようなことがどうしても脳裏に焼き付いており、公園・緑・スポーツ運動を備えた、健康増進に向けての施設がどうしても必要になってくると思う。一方では、体の不自由な、あるいは病気などに対しての技術的な医療施設の新設や研究施設、高度な医療技術を開発する施設、看護師や介護士などのレベルアップを図る施設（養成施設）も必要になってくると思う。それらを優先し

て今後の発展につながればと思う。

- 今の案には賛成であるが、競馬場の周辺地域（現在の体育館敷地も含めて）を一体的に考えて、今後の福山市を50年、100年先に向けてどのようなコンセプトで作り出していくのかを総合的にプランニングしておかないといけないと思う。
- 公園・広場・緑地、スポーツ・健康機能の2つがクローズアップされると思うが、市の体育館は1、2回目の懇話会では、（市の考え方として）出てきていなかった。その後新聞で市教委が担当していることを知った。市教委と調整はどう図られたのか。福山は交通機関がなく自家用車が主なのでかなり大きな駐車場が必要。管理も地域の人・高齢者が行うなど創意工夫を行いながら、駐車場を広くとって思いきって値段を安くすると福山市近郊（駅家、松永、神辺、沼隈など）遠方からの利用者も増えるのではないかと思う。
  - ⇒ 当初懇話会を立ち上げて市民アンケートを実施してきたわけであるが、競馬場跡地は市内中心部に残る唯一の広大地ということで、市の行政課題は置いておいて、白紙の状態であく意見をお伺いしたいということで体育館については触れていなかった。市民アンケートや皆さんの意見をお伺いする中でも、体育館という声が強くなっていったという部分は私共も認識しているし、また教育委員会が社会体育施設の基本計画をまとめているが、市の重要な課題となっているという認識はあったので、今回意見を頂く中で提案させていただいている。そういう形で集約できればと考えている。
  - ⇒ ここの導入に関する市の考え方を付ける段階においては、課長が申したように白紙の状態を始めさせて頂いた。この分析をした結果は行政内部で調整をして、◎を付ける時には当然教育委員会と話をし、本当に総合体育館が現地建て替え可能なのか等を協議したうえで、それと社会体育施設の基本計画を踏まえて、内部調整を図っている。他の○、◎についても、部内局内での検討を踏まえて評価させていただいている。
- アンケート結果を尊重するというのが、我々、懇話会の1つの柱になると思う。そうすると、公園・広場・緑地やスポーツ機能に絞り込まれてくると思う。教育委員会とも重複するが、我々は競馬場跡地ということで懇話会を行ってきたわけであるが、総合体育館となると道路を挟んだ現在の体育館の跡地問題が生じてくる。それでまた同じような跡地懇話会を立ち上げるのはナンセンスなので、土地利用の基本構想のコンセプト、土地利用の考え方とところにスポーツ施設・体育館をうたうのであれば、体育館跡地の活用も同時に提案する内容で報告書をまとめた方が良いと思う。
  - ⇒ 委員さんの統一的なご意見として受け止めているのは全体のコンセプト、その中には例えば中心市街地との動線であるとか、旧体育館となればその跡地も含めた問題も視野に入れていかないといけない。ただ、あくまでも競馬場跡地が中心になると思うので、その中で委員さんがおっしゃられた市全体の位置付けを整理させて頂いて、またご意見頂きたいと思う。
- 一次評価で書かれているが、基本方針が大ざっぱすぎるのではないかという印象を持った。100周年などに向けた行政課題もあると思うし、9つの視点で見た時にどうかなどの細かい視点の評価になった方が良かったのではと思った。公園・広場・緑地やスポーツ・健康機能が絡み合った総合的な企画になると思うが、様々な施設を造っていくうえで大きな問題は交通

アクセスの問題だと思っている。芦田川の河川敷の活用がどの程度可能なのか。交通アクセスに関しては、まわローズがあるが、車社会の事を考えた交通アクセスになっているかどうかという事だと思う。大きな施設で大きな駐車場を持っているところはただで入って買い物ができる。駐車場の考え方もどのように考えていくかということもあるし、芦田川が駐車場に使えるのであれば、そこからどう運ぶか等も考えていかななくてはならない。駅前に対してもそうであるが、車が無い人を運ぶという目的なのか、車がある人を目的地へ運ぶという目的なのかなどを大きな課題としなければいけない。基本構想をまとめる段階ではそういった部分もあればと思う。

⇒ 交通アクセスについては非常に難しい問題だと思っている。地方都市とすれば車社会であり、一方で高齢化社会となれば公共交通の維持確保も両方考えていかないとけないと思っている。

- 判断をする資料として、市民アンケート、懇話会委員の意見を網羅的にしている。もちろん市民の意見を尊重するのも大事であるが、直接の意見というのは本人の関心・利害に偏りがちなので、長期的な展望を考えた時にそれが必ずしも正しいのかが分からない。物を考えるにあたっては、福山市が中規模の地方都市で様々な問題を抱えていて、その問題の解決のために何をすれば良いのかということ、これだけの広大な跡地をどうつなげていくのかという基本的な物の考え方がないと判断できないと思う。個人的には公園にするのが良いのだろうと思うが。福山市の課題の中で例えば産業の振興の優先度が高いのであれば、△が◎になってくるという可能性もあると思う。違う施策でやっていく、その施策と跡地の利用が別々ということであればどう考えていこうかということになってくると思う。その時に跡地は、福山市民の憩いの場という位置付けにするのか、福山市の産業振興の起爆剤とするということなのか。おそらく市民の憩いの場という物の考え方が妥当である。そこで初めて市民・懇話会の意見を考えた時に、どういうところに志向が向かっていくのかということだと思う。前段部分で市民の憩いと同時に福山の発展に資するなど様々あると思うが、すべて盛り込めば現実問題として成り立たなくなる。中心としては市民の憩いの場であり、その憩いの場である公園をいかにして福山らしさ、便利、魅力、さらに欲張って言えば、よく知名度が低いと言われるわけであるから、それを上げるような特徴などを盛り込んでいくというのが基本なのかなと思う。

個人的な意見としては、市民の福祉のために公園で良いのだろうと思う。同時に公園だけでなくスポーツ施設・体育館等も盛り込んでいく方向が望ましいと思う。特徴をどう出すかということは、よくわからないが、例えば芦田川沿いであるからサイクリングロードを作って、その起点であってPRできるとか、船でつなげるなど水運も活用すれば立地的な特色も出せるのでは。そのあたりはアイデアを出して福山らしさを考えていく必要があるのではないかと思う。点としての開発・魅力づくりではなく線としてということも考えたい。距離が長すぎるので費用がかかりすぎてしまうが、福山駅から一直線であるからその空間を福山らしさ魅力を考えるためには活用していくということもアイデアもあればと思う。バラロードなどインパクトが大きいと思うが。足の問題であるが、高齢社会になると誰でも自動車で行けるわけではない。足の便の確保も大事な要素になる。

スポーツ施設については、何らかの国際水準であることが必要。国際大会が開かれるようになるると色々な人が集まってくるであろうから、それが振興ということになるだろうし、7年後にはオリンピックもあるので、めざす人たちのトレーニングや候補選手が来て練習するなど活性化につながるかもしれない。ということでスポーツ施設は国際水準のものが良いのではないかと思う。

- 基本的には、総合体育館と広場・公園を一体的に整備できれば良いと思う。15ha という広大な土地であるので、総合体育館と広場（多目的広場）を造って、それがどのくらいの大きさであれば市民の憩いの場になるのか、全て使うのか、あるいはいくらか残してあとを色々な目的のために順次考えていって埋めていくという考え方でいくのか、そのあたりは土地利用のコンセプトをどうするかだと思っている。基本的には2つの施設をどんと作るのが良いと思っている。その際に、これから高齢社会を迎えて、健康で長生きをするので、専門的なスポーツではなく、市民がジョギングなどの軽運動のできる、そして子供も家族と一緒に遊べる広場、芝生のはらっぱ的な広場が、これまで福山市に貢献してきた競馬場を市民の方のために活用していくという主旨では良いと思う。今家族のふれあいやつながりも希薄になってきている中で、そういったものが家族や地域のつながりを作っていくものに利用できれば良いと思う。もう一つは、植木等を植えると維持管理が問題になってくるので、維持管理が容易なものを考えていくべきと思う。ばらの普及が大きなテーマで地域の花壇を地域の人たちで育てているが、そこが一つのコミュニティづくりの場になっている。ばらの世話をするという目的もあるが、そこに行けば近所の人と話ができる。特に高齢の方たちは、ふれあいの場がないため、その場がまちづくりのコミュニティづくりの場になっている。そういうことから、地域の方、近隣の方が、何か活動できることで、市に貢献しているという誇りを持つことが目標を持って生活することになるし、地域のまちづくりになると思っている。

ばらのシンボルロードの検討が2年くらい前に終わった。その後どうなっているのか分からないが、来客者が福山駅からばら公園まで行く道をばらのシンボルロードとしており、これと競馬場跡地に行く途中が重なれば福山の魅力づくりとなるのではないか。すでに構想で固まっていなければ、一つの方法として考えられるのではないかと思う。

- ⇒ 行政の協働のまちづくりや市長が言っている心の豊かさなど全てにつながっているのかなと思う。また、点ではなくシンボルロードのような線や運営にあたっての工夫など、構想以降、基本計画や実施計画につながっていくのでそれらに生かせればと思っている。

- ニーズや現状課題を重点的に、あまり盛りだくさんにすると焦点がぼけるので、いくつか重点的なものを上げた上で、その方向性で走っていくのが一番良いのではないかと思うが、やはり交通アクセスの問題がある。高齢者の方は、今バスの路線も減り便数も減り、車を運転できない方は公共交通機関を利用しないと移動ができない。幅広く子どもからお年寄りまで利用できる施設にするのであれば、交通網の整備を考えざるを得ない。福山市外からJR等で来られた方になると、福山くらいの都市になればバスの便数も多いが料金も高いので、どう動線を持っていくのかを考えていかないと利用していただけないのではないか。全国規模や世界規模の大会を持ってこられるような施設を造るとなると、当然選手や参加者の受け皿がない。福山は宿泊施設が少ないという印象があるので、敷地内にできれば良いのだ

ろうが、宿泊施設の構想も持って計画すれば、それなりに経済効果が出るのではないかと考えられるので、そのあたりも踏まえて、市内外の幅広い人が利用できるような受け皿が準備できれば、この先長く利用していただけるのではないかと思う。

- 概ね、1 ページ目の2 点については、全国大会が招致できるような多目的な体育館は必要ではないかと思う。福山市は備後地域の中核市で中心の市であるから、そういった施設があることによって人が福山市に集まってくるというのは間違いないだろうし、集客についての受け皿の業種も増えてくると思っている。まわローズのような福山市内を巡回するようなバスができれば、バス会社にとってもコストが下がると思う。近辺では倉敷のRSK、大三島のばら園、高松の中央公園（地下が全部駐車場）がにぎわっているので、参考になるのではないか。

現状と課題を見ても、他の中核市と比較すると公園や体育館の整備も福山市は下回っているし、体育館は老朽化が進んでいるので、建て替えるのであればその跡地も含めて駐車場のことも考えるべきと思う。

- 基本的には公園・緑地・スポーツ施設というのが、多くの意見を反映することにもなるし、将来的に転用が可能という視点もあって良いかなと思っている。人の流れを考えると、おそらくほとんどの人が日帰りで、泊まりがけで来るとすると、スポーツ大会となるだろう。先日合唱コンクールで数千人の方が来られていたが、沼隈で宿泊しているという現状であり、民活でやっていけないといけないと思う。数年単位でとどまってくれるかという視点で考えた場合、競馬場跡地でということではないが、中核市として私立大学やその分校といった高等教育ができるような、若い人が来て数年留まり、場合によってはそのまま地域で就職するというような考え方も持っておいて頂きたい。数十年単位となると住むということになる。その際は高齢者を支えるインフラをどれだけ継続して供給できるかが重要であるが、現状として介護・医療の現場に若い人が来てくれない、岡山と広島の間になっているということは問題意識として持っておいたほうが良いと思っている。いずれにしても、運動施設といった建物ばかりではなく、地形を利用したものや芝生広場などが良いのではないか。また、地域の自然を使って、例えば芦田川の水を取り込むなど周辺と一体となった整備することも大切なことではないかと思う。

⇒ 人の流れ、社会を継続して支えるという視点をいただけたと思う。広大な跡地でなおかつ中長期にわたって考えていかなといけないことなので、ある意味、皆さんの考えが入れられる素地も多いが、なかなか固定した答えも出しにくい状況もあるのではないかというところのバランスも難しいが、考えてできるだけ、構想なので文章ができればと思う。

- 候補の中に公園が入っているのは素敵なことだと思う。今この場にはたくさんの団体の長や関係者の方がいらっしゃるの、公園になった場合には、単純に公園として終わらせず、その公園を上手に使って可能性のある場として活用できるように皆様の力をお貸しいただきたい。

例えば、この広大な15haの場所で、スポーツや健康に関する国際大会を誘致することもできるのではないかと考えている。また、にぎわいや集客という観点では、鞆の鯛網漁へ隣の芦田川から通船を出すなど水辺を使った取組も出来る。様々な可能性を公園から広げていけ

ればと考えている。

活用の段階では、今あるものをうまく使っていければと考えている。理由としてコストを抑える目的と、競馬場が福山に大きな役割を果たしてきたので、そのことを後世に伝える必要を感じているからだ。更地にして何があったか分からないようにするのではなく、コース上のコーナーだけでも残しておくなど、後世に福山の発展に寄与した競馬場があったことを伝えていくことも一つの大切な役割だと考える。同時に、今後柔軟に対応できる場所として土地を残しておく、福山の発展に欠かすことできない場合に利用する必要性も感じている。素晴らしい候補が市民の声として上がってきていると思う。

- 総合評価の内容については同様の認識を持っている。多く意見が出ている、市民がゆったり過ごせる公園・広場等の整備ということについても賛成である。ただ、これから色々な意見を基本にして、その他の機能との相乗効果というか、ハード部分をどうしていくのかの議論がされることになると思うが、ただ単に公園で済ませるのか、相乗効果を狙うのかという事があるが、その時に、福山市には既に多くの公共施設があるわけで、確かに競馬場の跡地の活用という意味では、今ある公共施設の総括をして、足りないところを補っていくのか、スポーツなり健康づくりの拠点にするのか、海外からの集客を狙っていくのか、今ある公共施設とは別物でフクヤマをPRすることも含めて施設づくりを狙っていくのか、いろんな方法があると思うが、その時に仮に独立した施設運営をやるとしても、今ある福山市の公共施設の活用状況や整備した時の目的や老朽化の見通しも含めて、全体の整理の中で見ておく必要があるのではないかと思う。その関係で今回議論していく施設を、本当に切り離していくことができるのか、それはどうしてかということ、将来施設が老朽化してまた新たな議論をした時に、税金の投入といった時になぜ議論をしておかなかったのかということにならないようにしておかないといけない。いずれにしても、市民の皆様からの税金を投入して、施設を造ったり、運用をしていくわけであるから、しっかり皆さんの意見を聞いた上で、最終的には政策判断として、全体の総意で作っていく必要がある。

また、市制 100 周年もあって、市長の思いもあると思うので、できれば市長の思いが今後の参考というか議論の中に取り込めるのであれば、聞かせてもらいたいと思う。

⇒ まさに今までの公共施設の活用というのは、市の大きな課題となっている。特に福山市は急成長してきた。そういったことから市に大きな公共施設がある。公共施設の再構築の方針をもって全市的に学習をしている。そういったものも行政内部でされてきている。様々な部署から言えばここを活用したいという思いはあるが、市民の意見や活力が将来見込めるであるとか、ポテンシャルとして残すということで、この場の意見、市民の意見を含めて中でも調整するという作業をしていく。

当初は 100 周年に間に合わせたいという思いも確かにあったが、市長の思いから申すと、これだけの広大な跡地なので、むしろ市民の大きな財産として、100 周年にあまり縛られるのではなく、議論をきっちり重ねて次の 100 年を生きるものにしていかないといけないという思いを踏まえた構想という形で議論を詰めさせていただいている。ただ、今後基本計画それから実施にあたっては、市の課題、100 周年に目を向けてどうやって都市ブランドのイメージを紡いでいくかということところは工夫のしどころではないかと思っている。

- 基本的に体育館は必要なものである。体育館以外の部分については公園としておいて、将来、必要となると考えられるような、例えばものづくりにつながるような研究施設などを将来的に考えていくという手法でいけば良いのではないかと。
- 現在ある鉄筋の大きい建物二つがそのままという形の中で、現在の建物を全て取り壊すのか、一番北側の建物はかなり古いというものでもないから残すというような方向にするのか、建つ前にそれらの整理をしないとなかなか空間で置いておくのも、地域の人たちは火事なども心配しているので、できれば撤去するものは早く撤去して次の段階に進んで、早く方向性を示してほしいというのが地域の要望である。
- ⇒ スタンドおよび事務局の5階建ての建物は解体の設計のための予算措置を進めているところである。北側の建物については承知していないが、基本的には老朽化している施設が大半であるので、早めに解体していきたいと市としても考えているところである。

以上